



Scenario 12 プラハ宣言 (1945年5月10日) 半仮想シナリオ

中欧にある多くの都市が灰燼に帰す中、プラハは無傷であった。ヒトラーの死が知れ渡った5月5日、プラハ国民評議会は武装蜂起し市内を通過中だったSSダス・ライヒ装甲師団と交戦状態に入った。プラハ放送局は「プラハを救援せよ！直ちに戦車と歩兵の派遣を要請する！」と西側連合軍に呼びかけたが、救援に駆け付けてプラハからSSを駆逐したのはヴラソフのロシア解放軍第1歩兵師団であった。事前にバットンと接触したヴラソフは、反共ロシア解放軍を擁して赤軍より先にプラハに進駐する事でスターリンを挑発し、必然的に対ソ戦へ導入できると説き伏せた。これを受けてバットンは独断で子飼いの第4機甲師団（先鋒はバスターニュ救援一番乗りの英雄エイブラムス中佐の選抜混成戦隊）にプラハへの突進を命じた。ヴラソフは「打倒スターリン、ロシア解放の為の諸民族決起」を謳ったプラハ宣言を読み上げ、米軍との共闘を知らされたロシア解放軍は熱狂しプラハ城の死守を誓った。激怒したスターリンはプラハ攻略を厳命。かくして米ソ両軍は古都プラハで激突した。



●配置：ロシア解放軍。1506とその隣接6ヘクスに自由配置

13	1	73	5	Leader A
4 Infantry (I)	7	5 Hetzer (T)	4	
6	5	8	7	
4	1	1		



0-1

●援軍：第2ターンにアメリカ軍は50ポイントを得る。一部を使用して次のターンに持ち越しも可。

●援軍：第3ターンにアメリカ軍は以下の増援と50ポイントを得る。

75	6
7 M26 (T)	9
10	9
1	

弾薬不足：アメリカ軍(ロシア解放軍含む)：0～1

●援軍：第1ターンに米軍は地図西端の道路ヘクスから進入する。その兵力は下表の各ユニットのポイントで合計100ポイントの範囲で自由に決定してよい。なお下記に記載されていないユニットは購入することはできない。又、当然ながら各々のユニット数以上に使用することはできない。ちなみに米軍歩兵と工兵のポイントは得点表とは異なるので注意。

ユニット	ポイント
M36ジャクソン	9
M18ヘルキャット	5
M4シャーマン長身砲(Sh.76)	5
M4シャーマンジャンボ	5
M4シャーマン105mm	4
M4シャーマン	4.5
M5スチュアート	3
M8装甲車グレイハウンド	2
歩兵	2
工兵	2
Leader A	5
Leader B	3
Leader C	1



●援軍：第1ターンにソ連軍は地図東端のヘクス0107から0111までと北東端の0312から0811の間から登場する。その兵力はT70軽戦車1ユニットを無償で受け取るのに加えて、表の各ユニットの合計50ポイントの範囲で自由に決定してよい。なお下記に記載されていないユニットは購入することはできない。また各々のユニット数以上に使用することはできない。ちなみにソ連軍騎兵と機関銃のポイントは得点表とは異なるので注意。



0-3

33	3
3 T-70 (AC)	2
3	13
1	

ユニット	ポイント
Stalin 3	24
Stalin	13
T34/85	7
T34/76D	4
SU-100	16
SU-85	6.5

ユニット	ポイント
SU-76	2
JSU-122	11
SU-152	5.5
JSU-152	8
Guards	1

ユニット	ポイント
騎兵	1
機関銃 (MG)	1
Leader B	5
Leader C	3
Leader D	1

●援軍：第2ターンにソ連軍は200ポイントを得る。一部を使用して次のターンに持ち越しも可。

●援軍：第3ターン以降、ソ連軍は毎ターン10ポイントを得る。

弾薬不足：Stalin III/Stalin II/SU-100 0～5
JSU-122/SU-152/JSU-152 0～7



●イニシアチブ：第1ターンはアメリカ軍。
第2ターンは7/変化2

●視認能力：10

●勝利条件

ソ連軍：ゲーム終了時に地図上の要塞化建造物9ヘクス(1204/1210/1305/1505/1506/1605/1608/1806/1907)と道路橋5ヘクス(407/903/1303/1409/1609)のうち、最低8ヘクスを支配すると勝利。支配とは最後にそのヘクスをソ連軍戦闘ユニット(単独の指揮官を除く)が通過するか、占めている状態を指す。戦闘ユニットのモラル状態(D/DD)は問わない。また弾薬不足でもよい。

アメリカ軍：ソ連軍の勝利を阻止すれば勝利。なお、ゲーム開始時には、上記勝利条件ヘクスは全てアメリカ軍支配下にあるものと見なす。

●特別ルール

1.地形はシナリオ11「神々の黄昏」と同じと見なす。

2.ゲーム期間中、ロシア解放軍は1506を中心とする隣接ヘクスで構成された7ヘクスを(移動・退却共に)任意で離れることはできない。また移動や退却終了時にアメリカ軍とロシア解放軍がスタックすることはできない(通過は可)。また各軍の指揮官は他の軍のユニットを指揮できない。指揮に関しては、アメリカ軍とロシア解放軍は別の軍として扱われる(両軍合同の射撃や突撃は不可)。なお初期配置されるSS歩兵とヘッツァー軽駆逐戦車は、あくまでロシア解放軍なので自由にスタックし、同一の指揮官の指揮を受けられる(共同の射撃や突撃は可)。またロシア解放軍はモラル回復に関してはSS扱いの7とする。

3.ソ連軍騎兵はシナリオ7の特別ルール参照。

4.両軍の増援は、各ターン冒頭にイニシアチブを決定する前、各軍同時に編成(購入)を決める。これは相手プレイヤーに確認されないように実施すること。

ターン記録トラック

1	2	3	4	5	6	7
---	---	---	---	---	---	---

盤外射撃：両軍ともなし。
航空支援：両軍ともなし。

イニシアチブ・チャート

0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
0-9 Soviet	0-8 Soviet	0-7 Soviet	0-6 Soviet	0-5 Soviet	0-4 Soviet	0-3 Soviet	0-2 Soviet	0-1 Soviet	0 Soviet	
9 USA	8-9 USA	7-9 USA	6-9 USA	5-9 USA	4-9 USA	3-9 USA	2-9 USA	1-9 USA	0-9 USA	